

果樹 発生に注意すべき病害虫

■ 果樹カメムシ類(うめ、かき、なし、ぶどう、みかん、もも等)

- ・ 府内で主に発生する果樹カメムシ類の種類



▲チャバネアオカメムシ



▲ツヤアオカメムシ



▲クサギカメムシ

- ・ 主な被害: 果実を吸汁し、品質を低下させる。



▲うめの被害

(吸汁痕からヤニが出ている様子)



▲ももの被害

(果実表面がデコボコになる
: 丸印が被害箇所)

※大阪府植物防疫協会 提供

詳しくは
「果樹カメムシ類 生態と
防除対策」
(令和3年3月作成)
もご参照ください。



■ ミカンナガタマムシ(みかん・かんきつ)



▲幼虫

幼虫は枝や幹の内部を食害する。
被害が大きいと樹勢低下を生じ、
樹全体が枯死する場合がある。



▲成虫

成虫は葉を周縁部から食害し
ギザギザにするので、葉を見れば
容易に発生を把握できる。



▲成虫による葉の被害